

亀田メディカルセンター

医療法人鉄蕉会

亀田総合病院・亀田クリニック・亀田リハビリテーション病院)



急性期・回復期・生活期・そして地域へ

千葉県高次脳機能障害支援普及事業
支援コーディネーター

総合相談室 : 藤屋 良恵
網代 祐介
リハビリテーション室 : 佐々木祐介



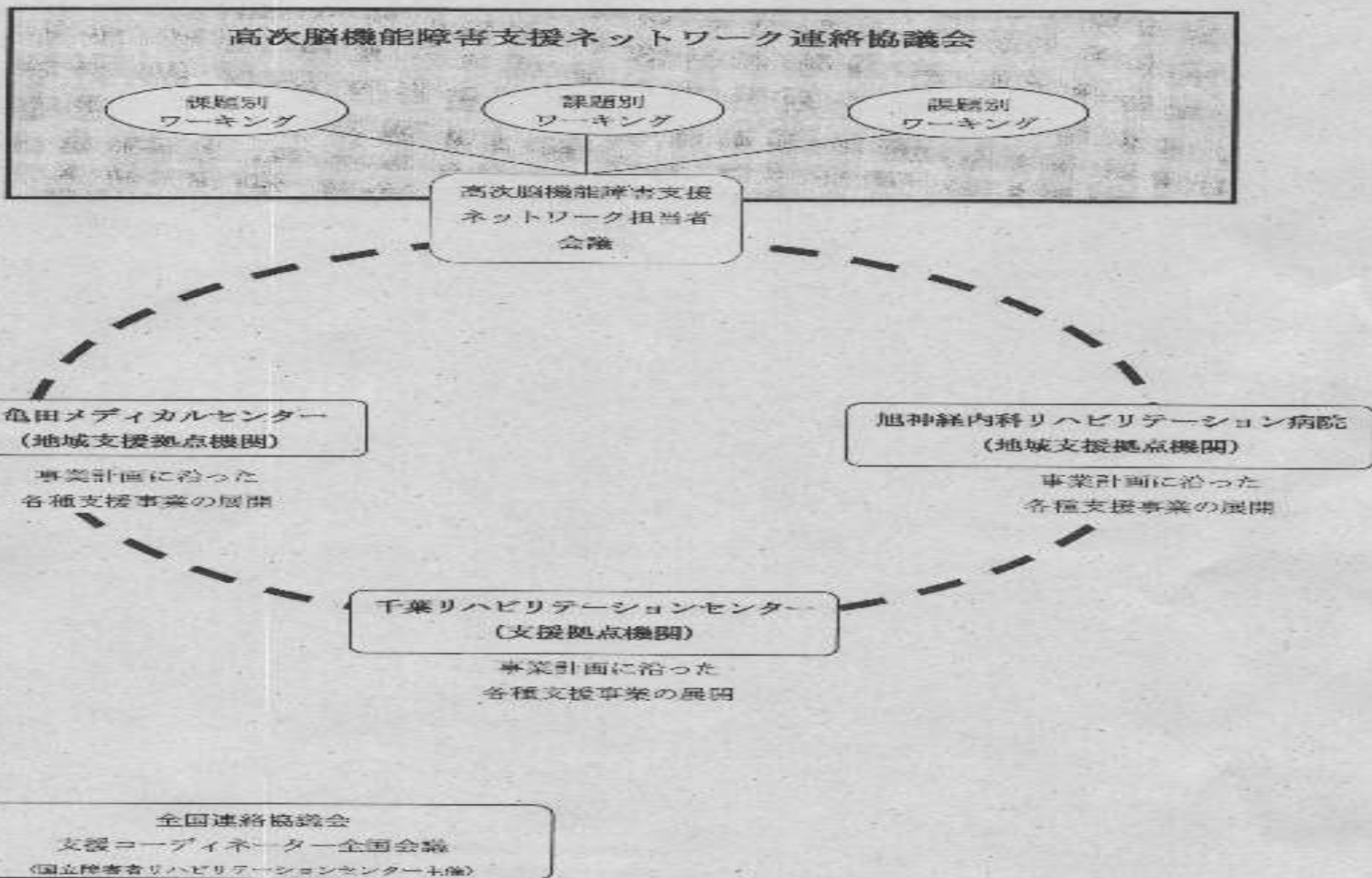
千葉県の事業

地域支援拠点機関における役割

支援拠点機関との連携のもと、
支援対象者の社会復帰支援のための
相談・関係機関との調整等を行うほか、
高次脳機能障害者に対する機能回復訓練と
社会復帰・生活・介護支援について、
各種の制度を活用したサービスの提供を行う。

【千葉県高次脳機能障害支援普及事業要綱より抜粋】

千葉県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会のイメージ図



千葉県高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会

構成機関名簿 (順不同 2014年度実績)

千葉県精神保健福祉センター	旭神経内科リハビリテーション病院
亀田メディカルセンター	千葉県千葉リハビリテーションセンター
千葉県救急医療センター	高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター
千葉県理学療法士会	千葉県高次脳機能障害者と家族の会
千葉県作業療法士会	ワークス未来千葉千葉障害者就業支援キャリアセンター
千葉県言語聴覚士会	千葉市保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課
千葉県社会福祉士会	ちば高次脳機能障害と家族の会
鴨川市福祉課	千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課
千葉県商工労働部産業人材課	千葉県子どもと親のサポートセンター
松戸市障害福祉課	千葉障害者就業支援キャリアセンター

千葉県の

「高次脳機能障害支援普及事業」

障害者総合支援法に基づく事業 県内に3つの拠点機関

▼支援拠点機関：千葉リハビリテーション病院

▼地域支援拠点機関：旭神経内科リハビリテーション病院、
亀田メディカルセンター ※全て医療機関

旭神経内科 リハビリテーション病院

- 集団リハビリ（外来）
- 菜の花チア立ち上げ
- 旭式メモリーノート

千葉リハビリテーション 病院

- 高次脳機能障害支援センター
〈以下4つのプロジェクト〉
- 成人高次脳リハプログラミング
- 地域生活復帰支援
- 小児高次脳リハプログラミング
- 就労移行支援

亀田メディカルセンター

亀田メディカルセンター



★ 高次脳機能障害普及支援事業
地域支援拠点機関(2箇所)

★ 高次脳機能障害普及支援事業
支援拠点機関(1箇所)

○ 亀田メディカルセンター医療圏

- ・人口 14万人
- ・高齢化率30%超
- ・電車やバスは1時間に1本程度
- ・第1次産業従事者が多い

○ 高次脳機能障害に関する相談で
日頃対応している範囲



企画会議参加メンバー

- 安房健康福祉センター
- 鴨川市福祉課障害福祉係
- 鴨川市社会福祉協議会
- 鴨川市地域包括支援センター
- 中核地域生活支援センターひだまり
- 介護老人保健施設たいよう
- 亀田 総合相談室
- 亀田 リハビリテーション室

亀田における支援体制

コアメンバー（院内）

- ▼代表：リハ科Dr
- ▼支援コーディネーター2名
(OT・SW / 共に急性期病棟業務兼務)
- ▼外来診療に関わるST・OT数名
- ▼SW数名

院外

- ▼安房健康保健センター（PSW）
- ▼鴨川市福祉課（保健師）
- ▼鴨川市福祉総合相談センター（Ns）
- ▼中核地域生活支援センターひだまり
(コーディネーター)

高次脳機能障害支援拠点機関

相談支援

- 事例個別の支援
- 電話による相談
- 市町村・関係機関に対する指導、情報提供

啓発活動

- 行政窓口・一般市民へ啓発
- 一般市民への啓発
- 広報活動・紙面の製作

支援 ネットワーク 構築

- 家族会の支援、電話による相談
- 関係諸機関との情報交換
- ハローワークなどへ相談

病院の既存機能を活用した支援

- 地域リハ支援事業の資源活用

連携

- 急性期からの関わり検討
- 外来継続で中長期フォロー

平成26年度上半期集計

	直接相談(当事者・家族からの相談)				間接相談(行政等支援者からの相談)				合計
	電話	来院/来所	メール・書簡	その他 (訪問等)	電話	来院/来所	メール・書簡	その他 (訪問等)	
支援数	17	84	0	23	74	13	4	8	223

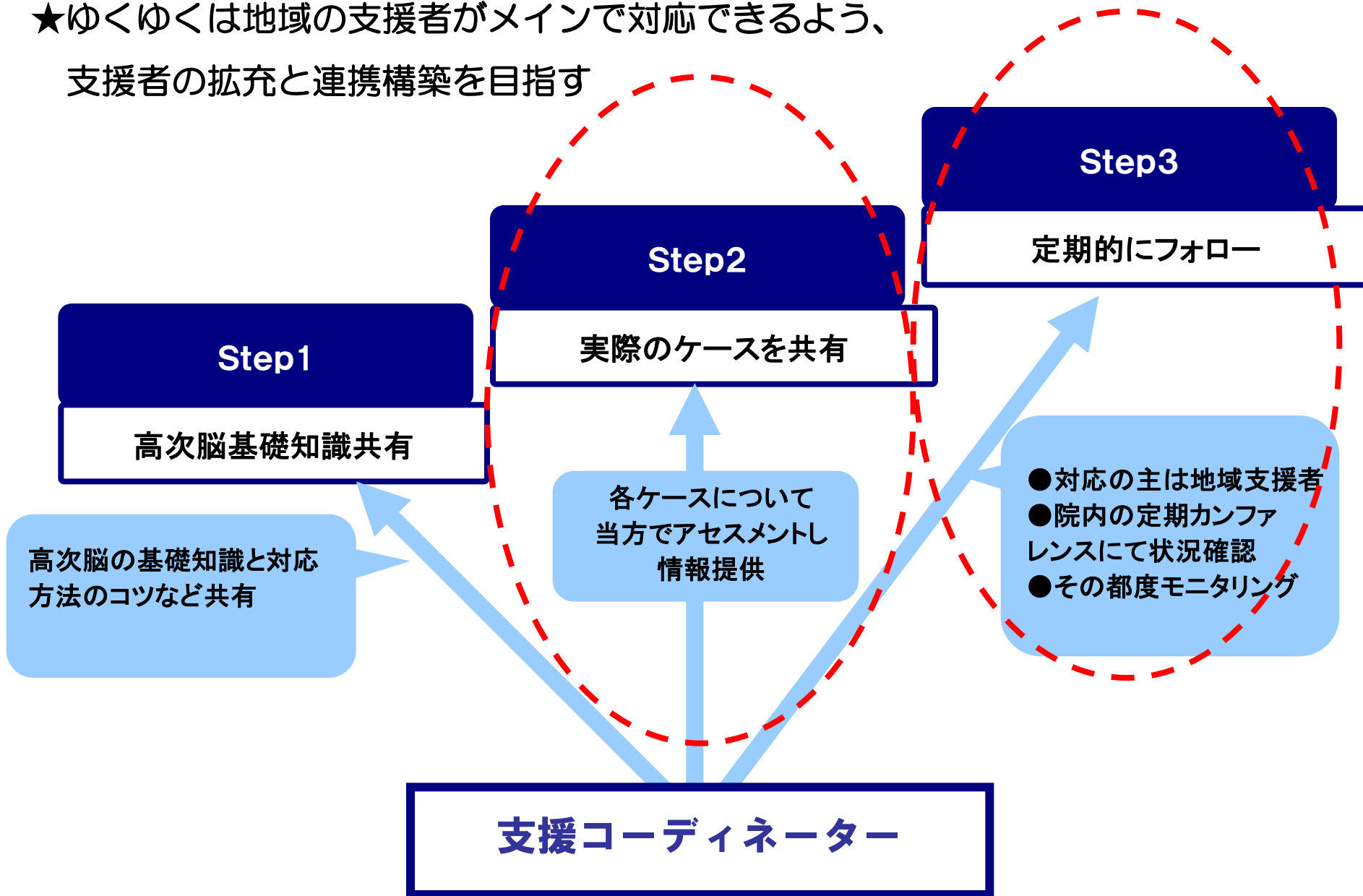
実践内容 啓発・家族会支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
定例会 (第3土曜13:30~)	19日(網・藤・友)	17日(網・藤・友) 「鎌ヶ谷見学の報告会」12	21日(藤) 「医療制度」9	19日(藤・友) 「リハビリ」4	なし	20日(藤) 「ひだまり→延期」7
勉強会+相談会			28日 館山会場① (安房保健所)5名	26日 鴨川会場① (ふれあいセンター)5名		
各種イベント参加	※随時					→
代表者会議 (月1回)	26日@ひだまり(網・藤・友)	29日@ひだまり(藤・友)	なし	3日@ひだまり(網・藤・友)	なし	4日@ひだまり(網・友)
事業会議 (WG・全体会)	21日 啓発WG① 21日 全体会			7日 全体会 9日 個別WG	7日 相談室会議 13日 啓発WG②	3日 個別WG 29日 相談室内会議
その他	16日 館山病院訪問→× 13日 オレンジ会(鎌田)	7日 石黒氏仕事見学 29日 館山病院訪問	8日 オレンジ会(友野)			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例会 (第3土曜13:30~)	18日(藤) 「(近況報告)」9	15日(藤・友) 「県内高次脳事業の動き」7	20日 「なかぼつ(予定)」 「手のひらの会報告会」	17日 「ひだまり(予定)」	21日 「リハビリ(予定)」	14or28日 「」
勉強会+相談会		22日 館山会場② (KFCT)		初旬~中旬:鴨川会場② (亀田クリニック)		
各種イベント参加	※随時					→
代表者会議 (月1回)	7日 @沓見(友)	なし	家族会前の日程で調整			→
事業会議 (啓発・全体会)	1日 個別WG	下旬:啓発WG 5日 個別WG 17日 全体会	3日 個別WG			中旬~下旬:啓発WG④
その他		16日 県内家族会集まり (手のひらの会)	20日 忘年会			

支援者開拓

★ゆくゆくは地域の支援者がメインで対応できるよう、
支援者の拡充と連携構築を目指す



本人・家族を中心に

家族会

相談支援専門員

地域活動支援センター

ヘルパー事業所

職場

就労移行支援施設

自立支援協議会(支援者部会)

高次脳機能障害支援センター

保健所

福祉課

地域の病院(ソーシャルワーカー)

自動車教習所

中核地域生活支援センター

他支援コーディネーター

障害者就業・生活支援センター



まとめ ～今後の展望～

- 安房圏域においては、既存の社会資源・支援者ときちんと繋がる事で、徐々にではあるが、確実に、連携が形となりつつある。引き続き地域の支援者と情報共有しながら当事者・家族にとってより有用な構築を目指す。
- 夷隅、君津圏域における介入ケースが増加しており、地域の支援者開拓が課題と考える。既存の関係機関を通じ、まずは情報交換・共有からはじめたい。
- 連携のみに留まらず、滞りなく運用され続ける働きかけを家族会と共に行い、当事者を地域で支えられる仕組みづくりを考えていきたい。